うつのみや生きものつながりプラン（後期プラン）　骨子（案）

第38回宇都宮市
環境審議会資料

別紙3

➢　前期プランの評価や市民，事業者アンケート，自然環境保全団体へのヒアリング結果及び専門家の意見を踏まえて，課題を総括し，後期プランの方向性を検討

前期プラン（H28～R２）

（将来像）
「人と生きものが　育みあうまち　うつのみや」

【基本方針１　生物多様性の大切さを知る】

【基本施策1】
自然に親しむきっかけづくり
施策①　様々な広報媒体を活用した情報発信
施策②　自然に親しむ機会の確保・提供

【基本施策２】
学ぶ場の創出
施策①　生物多様性に関する理解の促進
施策②　環境学習機会の提供

【基本施策3】
活動へつなげる支援
施策①　生物多様性保全に係る人材育成
施策②　様々な主体による生物多様性保全の取組促進

【基本方針２　生物多様性を守る】

【基本施策4】
生きものとその生息・生育環境の保全
施策①　本市の特徴的な自然環境の把握
施策②　生息・生育環境のつながり確保
施策③　生息・生育環境としての自然環境

【基本施策5】
生きものとその生息・生育環境の変化への対応
施策①　外来種等対策の推進
施策②　気候変動の影響に関する理解促進

市民アンケート結果
事業者アンケート結果
自然環境保全団体ヒアリング結果
専門家検討会による意見

計画策定のポイント

【本市を取り巻く状況】
・里地里山イニシアティブの更なる展開，生態系を基盤とした気候変動対策，物流に伴って非意図的に侵入する侵略的外来種への国際的な対処（次期生物多様性国家戦略策定に向けた視点）
・「SDGs未来都市」として，SDGsへの貢献

【市民ニーズ等を踏まえた課題の総括】

➢市民により身近でわかりやすい情報提供
➢各世代に適したメディアの活用
➢自然体験型のプログラムの充実

➢地域や学校と連携した出前講座の充実
➢学校等の環境教育と連携した学ぶ場の充実

➢活動を支える人材を育成し，活用する仕組みづくり
➢事業者，自然環境保全団体，地域などの主体間の連携強化による活動活性化への支援

➢本市の自然環境における現況・経年変化の把握と活用
➢地域特性に応じた監視や保全活動の充実
➢活動の中核を担う団体の育成
➢団体のニーズに応じた支援の充実
➢里地里山の保全に地域が主体的に参画できる取組の充実

➢外来種の侵入とその影響に関する調査研究と活用
➢事業者，自然環境保全団体，地域などの主体間の連携強化による活動活性化への支援
➢地域特性に応じた防除の推進
➢気候変動の影響も踏まえた現況・経年変化等の把握と活用

【関連計画との整合】
・第6次宇都宮市総合計画
・宇都宮市環境基本計画　　など

後期プラン（R３～R７）

将来像
「人と生きものが　育みあうまち　うつのみや」

【基本方針１　生物多様性（人と生きもののつながり）の大切さを知る】

【基本施策１】
自然に親しむきっかけづくり　・・・貢献するSDGsの目標（4・12・15）

【今後の方向性】
◎　身近でわかりやすく，各世代に適したメディアを通じた情報提供
◎　身近な自然とふれあう体験型プログラムの充実

【基本施策２】
学ぶ場の創出　・・・貢献するSDGsの目標（4・15・17）

【今後の方向性】
◎　地域や学校との連携強化による出前講座の充実
◎　学校等の連携強化による学ぶ場の充実

【基本施策３】
活動へつなげる支援　・・・貢献するSDGsの目標（4・7・8・9・12・15・17）

【今後の方向性】
◎　活動を支える人材を育成し，活動への参画へつなげるシステムの構築
◎　多様な主体間の連携強化による活動活性化への支援

【基本方針２　生物多様性（人と生きもののつながり）を守る】

【基本施策４】
生きものとその生息・生育環境の保全
・・・貢献するSDGsの目標（2・3・6・11・14・15）

【今後の方向性】
◎　自然環境における現況・経年変化の把握と活用
◎　地域特性に応じた効果的な保全活動の充実
◎　団体の活動を促進する支援の充実
◎　里地里山の保全に地域が主体的に参画できる取組の充実

【基本施策５】
生きものとその生息・生育環境の変化への対応
・・・貢献するSDGsの目標（2・3・6・11・13・14・15）

【今後の方向性】
◎　外来種の侵入とその影響に関する調査研究と活用
◎　多様な主体間の連携強化による活動活性化への支援
◎　地域特性に応じた防除の推進
◎　気候変動の影響も踏まえた現況・経年変化等の把握と活用

貢献するSDGsの目標

※【今後の方向性】の網掛け部分は，後期プランの特徴につながるポイント。
※貢献するSDGsの目標は、幅広く捉えていることから，施策を整理した段階で再整理。